



平成 23 年 7 月 14 日
社長 大中勝博

【夏季賞与】

7 月 11 日の例会では第 20 期の決算は約 203 万円の赤字決算とする見通しをお伝えしましたが、昨日の場当たり的な菅内閣の経済・エネルギー政策の発表に対応して急遽、特別損失を 1,333 万円に積み増して法定限度一杯の繰延資産の償却を致します。但し、11 日発表から営業利益、経常利益とも 12 万円好転の見込みです。

その結果、当期純損益は▲820 万円の見込みです。償却はキャッシュアウトを伴いませんので、会社の経営状態は 11 日の定例会発表の事態と殆ど変わりません。今年は主だった日本企業が大きな特別損失を計上しております。当社も赤字決算である以上、一般には賞与をお配りできる状況にはありませんが、計算上は▲820 万円の損失の約 85% は皆様に 15 日にお配りする賞与相当額として既に織り込んであります。

但し、今回の賞与は名目賞与額ではなく手取り額の実質性に工夫を凝らしました。十分ではありませんが、皆様の日頃の労に最大限お答えしたつもりです。賞与考課については売上貢献の他、利益貢献と各位の資格取得等へのチャレンジ、通常業務以外での会社業務への積極的参画と成果を公平に評価いたしました。

尚、新人の皆様に対しては、第 20 期に貢献頂いた期間が短いので、「金一封」の還元とさせて頂きました。第 20 期は本当にご苦労様でした。そしてありがとうございました。

【第 21 期の施策】(7/11 発表 再掲)

- ① 売上目標を 2 億 4,500 万円とし、第 18 期並に回復させる。
- ② 営業を強化し、一括受託売上で利益を補強する。
- ③ 余剰借入金を返済し、私募債で補強しながら「無借金経営」を目指す。
- ④ E R P 研究とオフショア開発に継続投資し、将来の事業に育てる。
- ⑤ 主任会を組織し、人材登用と起業家の育成を図る。

来期は第 20 期の 1,333 万円の損失を取り戻し、大発展を図りましょう。

【人事】

大友 一樹：平成 23 年 8 月 1 日を以って昇格とし、システム開発部 課長に任命します。

菊池 奏子：平成 23 年 8 月 1 日を以って昇格とし、システム開発部 主任に任命します。

森藤 健太：平成 23 年 8 月 1 日を以って昇格とし、システム開発部 主任に任命します。

【情報処理試験】

秋季情報処理試験の受験申し込み（郵送受付）は平成 23 年 8 月 19 日迄です。